

FreeBSDのportsnapコマンドをプロキシ経由で使う方法

2013/08/13 FreeBSD9.1でのお話。

プロキシがあるとportsnapコマンド実行に支障が出る場合があります。

- プロキシに答えなきゃいけない認証情報。
- プロキシが通信内容を検査するためにかかってしまう通信の遅延。

とりあえず、環境変数で押さえ込むことができたのでそのメモ書きです。

設定する環境変数

最低限設定が必要なのは以下の3つになる。

- HTTP_PROXY
- HTTP_PROXY_AUTH
- HTTP_TIMEOUT

HTTP_PROXYはたぶんおなじみだと思う。HTTP_TIMEOUTについては今回の事があるまで知らなかった。

ソースを見るとportsnapコマンドが呼び出す /usr/bin/fetch と /usr/libexec/phhttpget はこの3つの環境変数を使えるようだ。

HTTP_PROXY

以下の形式で設定する。

```
# setenv HTTP_PROXY "http://proxy.ne.jp:8080"
```

PROXYに認証情報がある場合はHTTP_PROXY_AUTHに設定する。理由は後述。

HTTP_PROXY_AUTH

以下の形式で設定する。

```
# setenv HTTP_PROXY_AUTH "basic*:userid:password"
```

BASIC認証でレルムは全てに対応しHTTP_PROXYに認証情報を入れて以下のような

```
# setenv HTTP_PROXY "http://userid:password@proxy.ne.jp:8080"
```

手抜きをしたくなるがportsnapコマンドで使っている/usr/libexec/phhttpgetがダサいつくりのせいで、認証情報入りのURIを正しくパースできない。そのためportsnapコマンドを使う場合はHTTP_PROXY_AUTHを使わないといけない。

HTTP_TIMEOUT

プロキシがダウンロードファイルを先にウイルス検査するような場合、大きいファイルのダウンロードほど通信に遅延が発生する。fetchコマンドのソースによると遅延許容時間はデフォルト120秒の様様。

この値はHTTP_TIMEOUTで変更できる。30分を設定するなら

```
# setenv HTTP_TIMEOUT 1800
```

となる。

[技術資料](#), [ports](#), [FreeBSD](#)

From:

<https://wiki.hgotoh.jp/> - 努力したWiki

Permanent link:

<https://wiki.hgotoh.jp/documents/freebsd/freebsd-017>

Last update: **2024/11/01 16:25**

